

1 教科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、創造的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 対象や事象を捉える創造的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。

(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。

(3) 美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2 評価の観点と内容および評価方法

	観 点	内 容	評価の方法
①	知識・技能	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 ・意図に応じて表現方法を工夫している。	・アイデアスケッチ ・作品 ・学期末テスト
②	思考・判断・表現	・自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさとの調和、美術の働きなどについて考えとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げたりしている。	・学習の記録 ・アイデアスケッチ ・作品 ・作品制作や鑑賞活動に取り組む姿勢
③	主体的に学習に取り組む態度	・美術の創造活動の喜びを味わい楽しく表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	・学習の記録 ・作品・ファイルなどの提出物の内容 ・授業に臨む姿勢

3 学習のてびき

使用教材	教科書：美術②③上・下～学びの探求と未来～（日本文教出版株式会社） 副教材：美術資料（秀学社）、絵の具セット スケッチブック、紙ファイル（配布プリントをまとめるもの）	
	学習方法	学校 <授業> ・授業の準備をしっかりとし、忘れ物がないようにしましょう。 ・課題の説明をよく聞き、課題を理解し作品を作りましょう。 ・表現や鑑賞の活動に積極的に取り組みましょう。 ・道具を大切に扱い、後片付けをしっかりとしましょう。 ・提出物の期限を守り必ず提出しましょう。 <テスト> ・学習した内容を教科書・資料集・プリントを使って復習しましょう。 家庭 美しいもの面白いものなどアイデアの種になるものを探しながら生活しよう。

4 年間計画 (3年生)

3 学期制	学習内容	学びの目標
1 学期	オリエンテーション 作品鑑賞 ヒロシマアピールズ 自己表現～靴～ 鑑賞会 ポスター制作	○形や色彩などが見る人に与える効果を理解する。 ○ポスター表現の特徴や効果について見方や感じ方を深める。 ○形や色彩、明暗、質感などに着目し、特徴、印象、美しさをとらえ、線の強さや明暗などを工夫して表す。 ○自分の靴という身近な題材をもとに、構図や場面などの効果を考え、構想を練ったり鑑賞したりする。 ○感情やイメージなどを、画材を通して表すことに関心を持ち、意欲的に取り組む。 ○表現されている靴や情景、構図など作者の意図と工夫について考え、鑑賞する。 ○表現された世界、作者の意図と工夫などに関心を持ち、意欲的に鑑賞に取り組む。
2 学期	鑑賞 ～作品からのメッセージ～ 木彫 ～自分へ送る卒業記念品～ 鑑賞会	○ものの組み合わせ、構図や色彩などに着目し、印象などをとらえる。 ○造形的なよさ、作者の訴えたいことや表現の意図と創造的な工夫、社会における美術の力などについて考え、鑑賞する。 ○絵に込められた作者の訴えたいことなどに関心を持ち、意欲的に鑑賞に取り組む。 ○形や色彩、材料の質感などに着目し、意図や効果などをとらえ、材料や用具の特性を生かし、見通しをもって表す。 ○使う場面や飾る場所、思いなどをもとに、形や色彩、材料の効果を考え、構図を練ったり鑑賞したりする。 ○調和のとれた装飾をすることに関心を持ち、意欲的に取り組む。
3 学期	卒業ポスター 鑑賞交流会	○形や色彩、光、構図などから写真の効果を理解し、見通しをもって表す。 ○伝えたい内容について考えた事をもとに主題を産みだし、効果的な表現の構想を練る。 ○自分の考えや見方を深めながら、デザインの構想を練ったり、作品の鑑賞に主体的に取り組む。

※年度当初の予定であり、授業の進捗状況などにより変更することがあります。